



2016+

MODEL S

緊急対応ガイド

本ガイドは、訓練を受け認定された緊急要員および初期対応要員を対象にしており、安全システムの仕組みを包括的に理解し、緊急事態に安全に対処するのに必要な適切な訓練および認定を受けていることを前提としています。本ガイドは、緊急事態時に完全電気式のModel Sを理解し安全に取り扱うための特定の情報を提供するために、Model Sの確認方法、高電圧コンポーネント、エアバッグ、膨張用シリンダー、シートベルトプリテンショナーおよび車体構造に使用する高強度材などの配置や説明を記載しています。本ガイドは、Model S特有の高電圧無効化手順や安全注意事項を含みます。大怪我や死亡事故にいたることがないように、必ず推奨されている対処法や手順に従ってください。

Model Sは高電圧バッテリーが主要な動力源であるため、従来のガソリンまたはディーゼルのエンジンは搭載されていません。したがって燃料タンクも装備していません。デュアル モーター Model S のリア モーターには、レギュラーとハイ パフォーマンスの2種類があります。また、フロントモーターにはインダクションと永久磁石の2種類があります。本ガイドの画像が整備対象の車両と一致しない場合があります。



安全ガイド.....	2
重要な安全指示.....	2
警告.....	2
車両の識別.....	3
バッジ.....	3
タッチスクリーン.....	4
電気車両コンポーネント.....	5
高電圧コンポーネント.....	5
高電圧バッテリー.....	6
DC-DC コンバーターとフロント ジャンクション ボックス.....	7
高電圧ケーブル.....	8
充電器.....	9
ドライブ ユニット.....	10
12V バッテリー.....	11
車両を安定させる.....	12
車輪 4 本すべてを車輪止めで固定.....	12
ギアをパーキングを入れる.....	12
高電圧システムの無効化.....	13
フロントトランクの高電圧遮断ループ.....	13
フロントトランクの高電圧遮断回路の切断.....	14
エアバッグとコンポーネント.....	16
エアバッグ.....	16
エアバッグ膨張用シリンダー.....	17
シートベルト プリテンショナー.....	18
補強材.....	19
補強材と超高強度鋼.....	19
切断禁止ゾーン.....	20
救助作業.....	21
全体もしくは一部が水没した車両.....	21
フロアパンへの荷重.....	21
消火作業.....	22
高電圧バッテリー - 火災による損傷.....	23
車両を持ち上げるには.....	24
ジャッキアップ ポイント.....	24
車両を開放.....	25
キーを使用.....	25
ドアを開放.....	25
電源なしでリア ドアを開く.....	26

ボンネットを開放.....	27
トランクの開け方.....	28
車両を押す.....	29
車両を押す.....	29
高電圧ラベル.....	30
高電圧ラベルの例.....	30
お問い合わせ.....	31
お問い合わせ.....	31



重要な安全指示

この文書には、緊急時における Model S の取り扱いに関する重要な指示と警告が含まれています。

メモ：本文書の図は、北米の左ハンドル車両（LHD）を示しています。他に記載がない限り、右ハンドル車両（RHD）については左右反対の位置と考えてください。

メモ：Model S は、北米に限り、エアバックを装備しています。

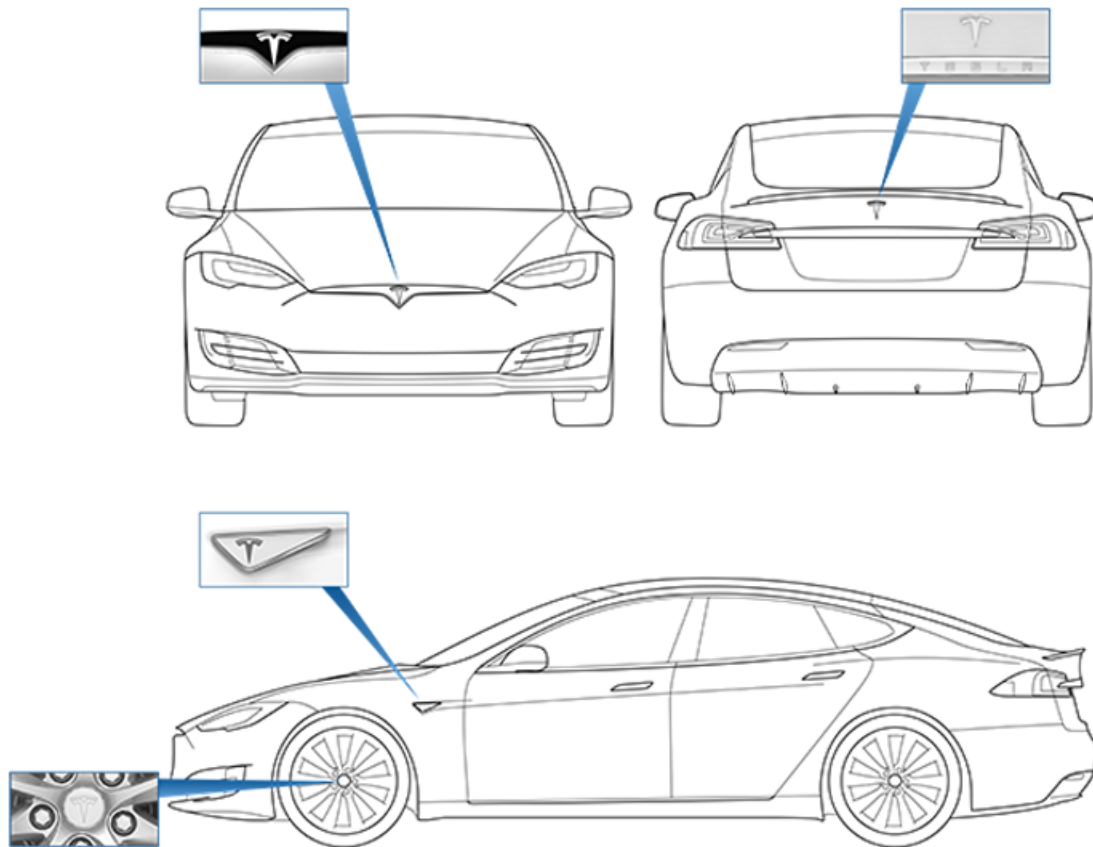
警告

- ▲ **警告：** Model S を切断する場合は、油圧カッターなど適切なツールを使用し、必ず個人用保護具（PPE）を着用してください。指示に従わないと重大な事故や死亡事故につながる恐れがあります。
- ▲ **警告：** 無効化の手順に関わらず、すべての高電圧コンポーネントが通電状態にあることを常に想定して作業してください。大怪我や死亡事故を防ぐためにも、高電圧コンポーネントの切断や破壊、接触がないようにしてください。
- ▲ **警告：** 高電圧回路を無効化した後、放電するのに 2 分かかります。
- ▲ **警告：** 補助拘束装置 (SRS) の制御装置には、バックアップ電源が搭載されており、放電時間は約 10 秒間です。エアバッグまたはプリテンショナーが展開してから 10 秒間は、SRS 制御装置に触れないでください。
- ▲ **警告：** 適切な PPE を着用しないで水没した車体を取り扱うと、大怪我や死亡事故につながる恐れがあります。
- ▲ **警告：** 火災が発生した場合は、車両全体が通電されていることを考慮してください。必ず、自給式呼吸器 (SCBA) を含む完全な PPE (個人用保護具) を着用してください。
- ▲ **警告：** 高電圧遮断ループを切断する際は 2 か所を切断し、切断部分をすべて取り除いてください。これにより、切断されたワイヤが誤って接触するリスクを回避します。
- ▲ **警告：** タイヤが回転してしまうような状態では、決して車両の輸送を行なわないでください。タイヤを回転させると重大な損傷または加熱につながる恐れがありますまれにはありますが、極度に加熱すると周りのコンポーネントに引火する恐れがあります。

バッジ

Model S は、バッジで確認することができます。

メモ：車両右側にあるバッテリーバッジ（比較的に新しい車両については、「DUAL MOTOR」バッジ）の端にある「D」は、車両がデュアルモーター仕様であることを表しています。



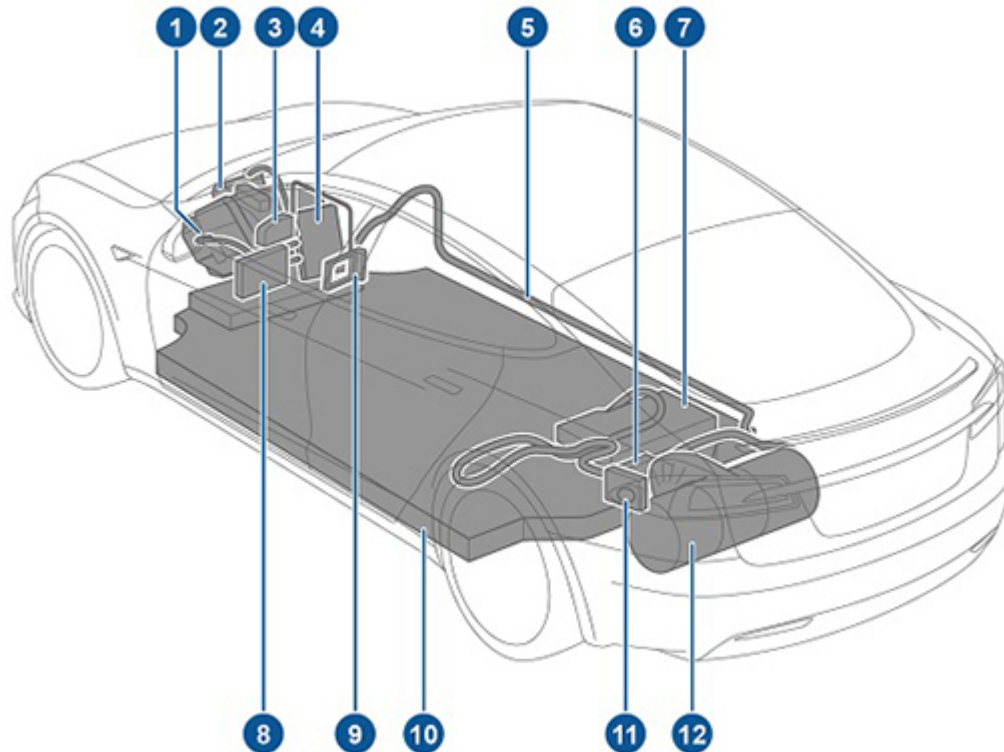


タッチスクリーン

Model S は、17 インチ（43 cm）タッチスクリーンで車両を識別できます。



高電圧コンポーネント



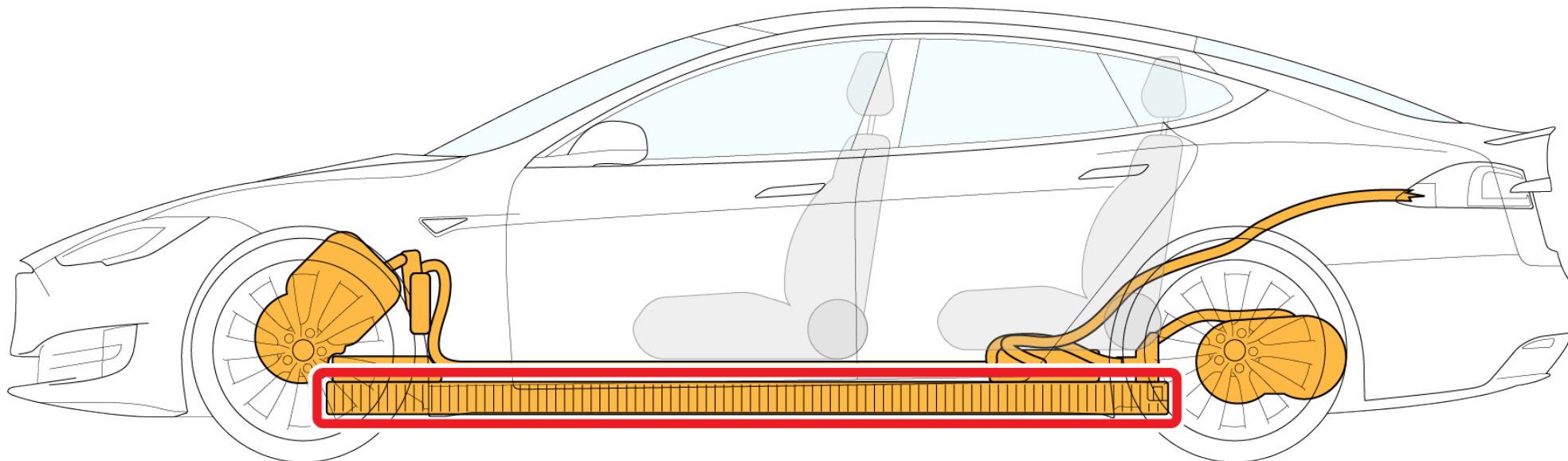
1. フロント ドライブユニット (装備されている場合)
2. A/C コンプレッサ
3. バッテリークーラントヒーター
4. フロント ジャンクションボックス
5. 高電圧ケーブル
6. 高速スプリッター
7. 充電器
8. DC-DC コンバーター
9. キャビンヒーター
10. 高電圧バッテリー
11. 充電ポート
12. リア ドライブユニット



高電圧バッテリー

Model S には、フロアにマウントされている 400 ボルトのリチウムイオン高電圧バッテリーが搭載されています。車両の下部をリフトする際にこの高電圧バッテリーに決して損傷を与えないように注意してください。レスキューツールを使用する際には、フロアパンを損傷しないように特に注意してください。車両を正しく持ち上げるには、[車両を持ち上げるには](#) 24 ページのにある作業指示を参照してください。

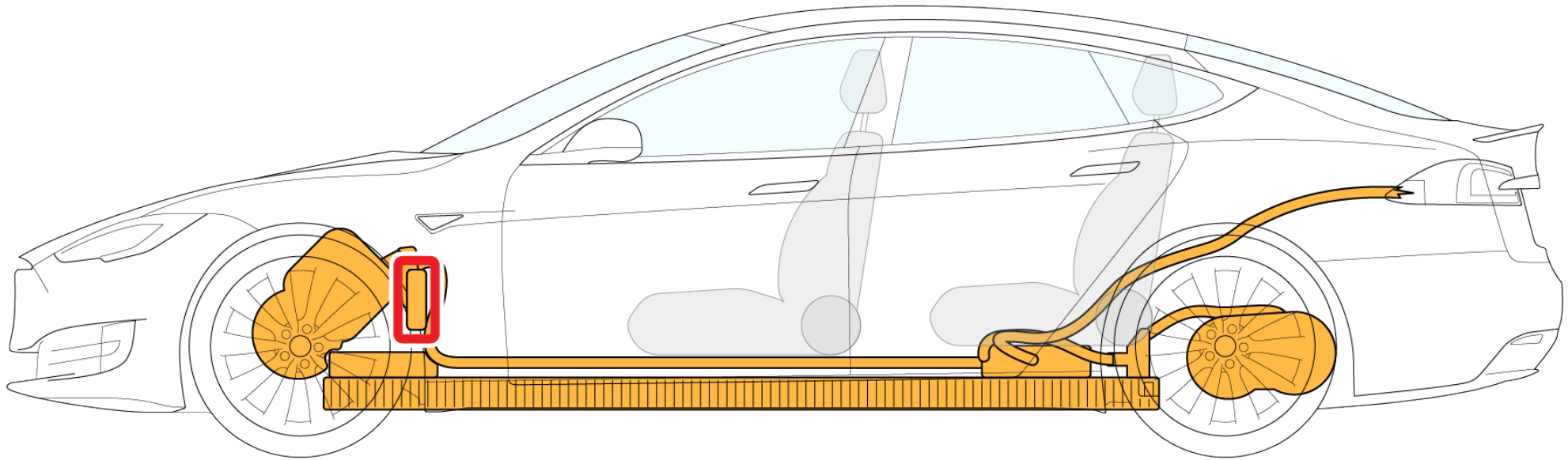
メモ：下図はデュアルモーター車両を表します。フロント ドライブユニットなしの車両はこれと似ています。



DC-DC コンバーターとフロント ジャンクション ボックス

赤色ラインで示された DC-DC コンバーターとフロントジャンクション ボックスは高電圧になっています。DC-DC コンバーターは高電圧バッテリーからの高電圧電流を低電圧に変換し、Model S の 12V バッテリーを充電します。フロント ジャンクション ボックスはバッテリー ヒーター、エアコン コンプレッサー、室内ヒーターなどのコンポーネントに高電圧を供給します。ダッシュボード リフトやダッシュボード ロールの処置中、この部分の切断は慎重に行ってください。必要に応じて対策を講じてください。

メモ：下図はデュアルモーター車両を表します。フロント ドライブユニットなしの車両はこれと似ています。

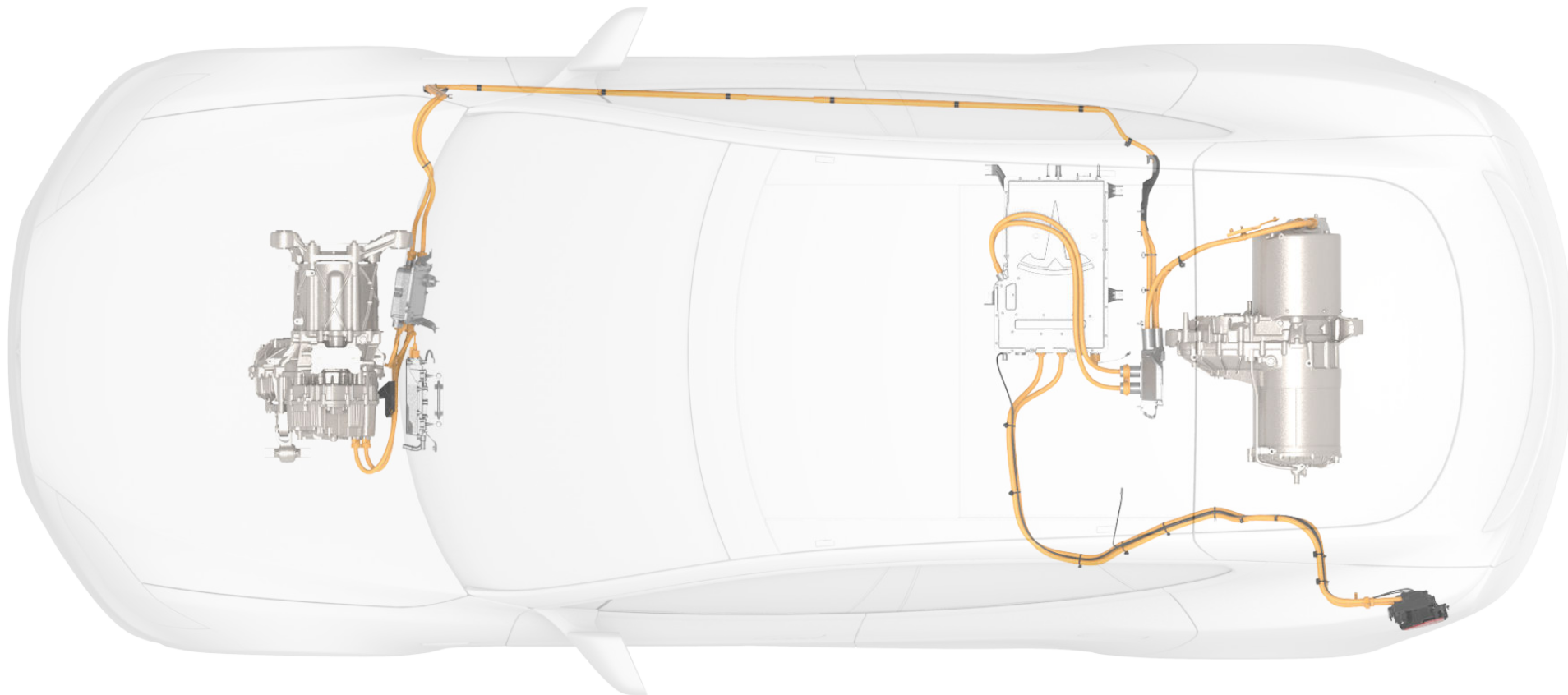




高電圧ケーブル

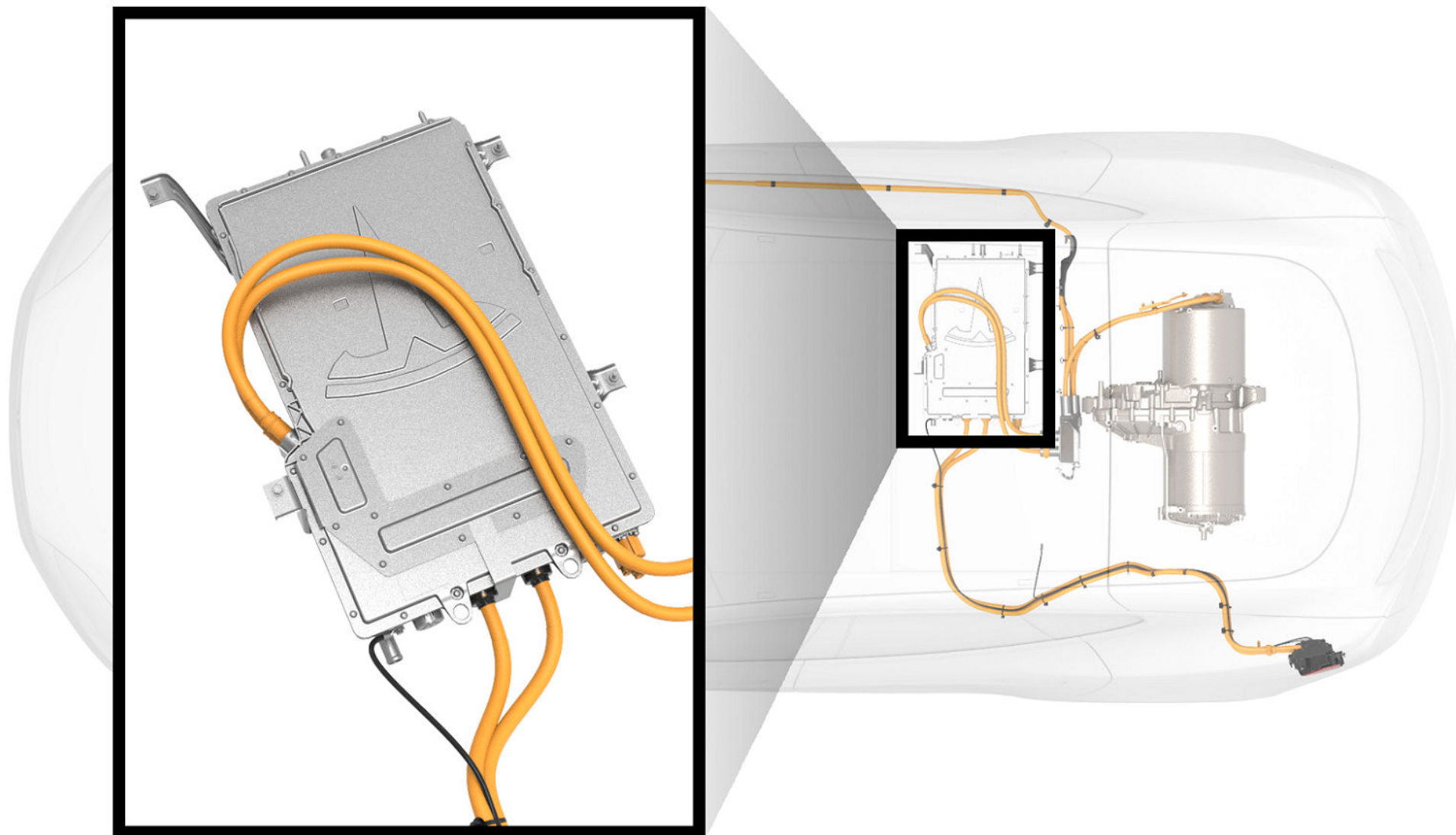
高電圧ケーブルは、オレンジ色で示されています。

メモ：下図はデュアルモーター車両を表します。フロントドライブユニットなしの車両はこれと似ています。図で示されているモーターが、実際に作業を行っている車両のものと完全に一致しない場合があります。



充電器

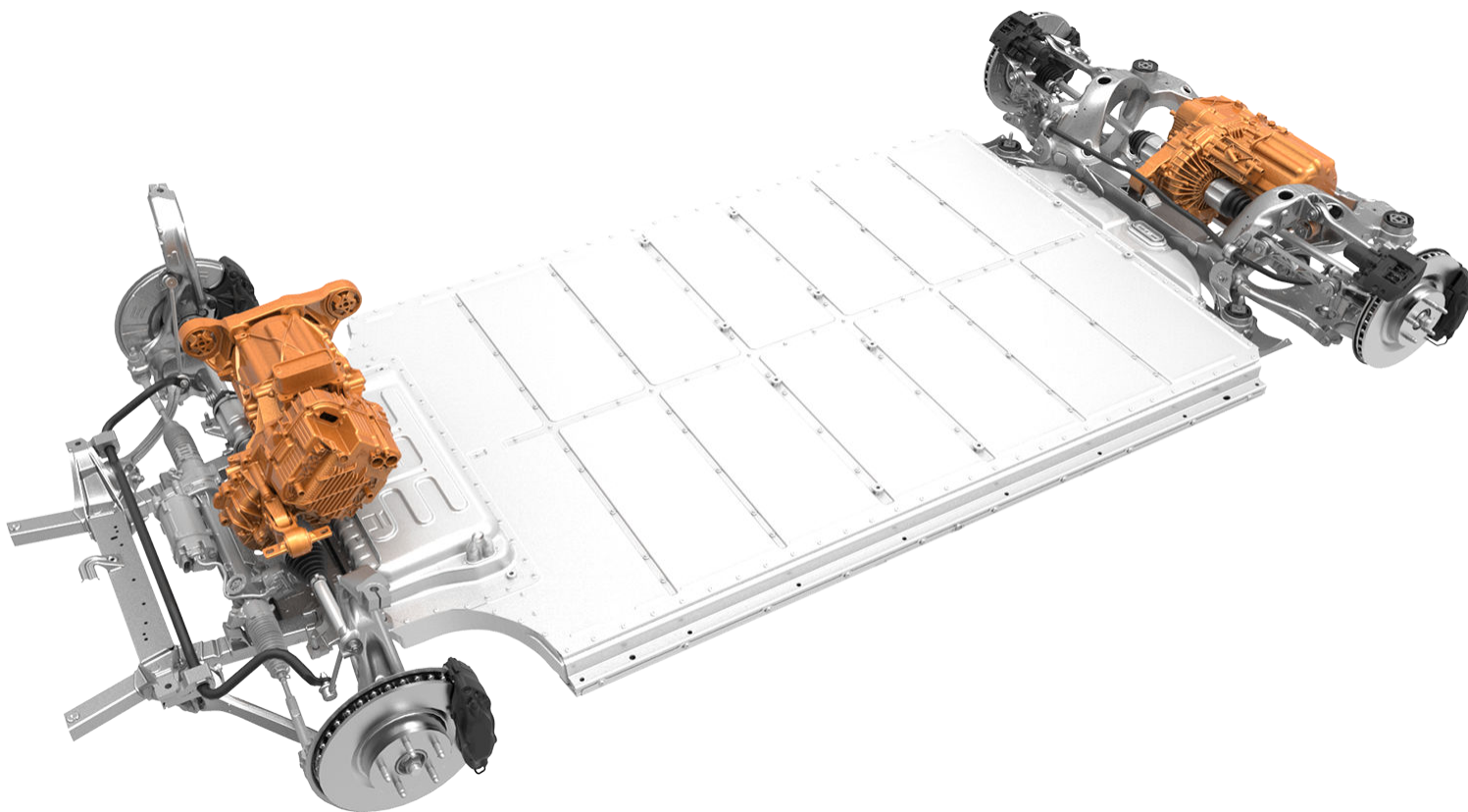
Model S にはリアシートの下側に充電器が一台搭載されています。この充電器は充電スタンドから流れる交流電流（AC）を直流電流（DC）へと変換し、高電圧バッテリーへの充電を可能にします。充電器に統合されている高電圧ジャンクションボックスによって、回生ブレーキ機構からの余剰電力が高電圧バッテリーへと戻されます。



ドライブユニット

リアドライブユニットは、リアホイールの間に搭載されています。フロントドライブユニット（搭載されている場合）は、フロントホイールの間に搭載されています。ドライブユニットは、高電圧バッテリーからの直流電流（DC）をホイールに動力を与えるためにドライブユニットが使用する三相交流電流（AC）に変換します。

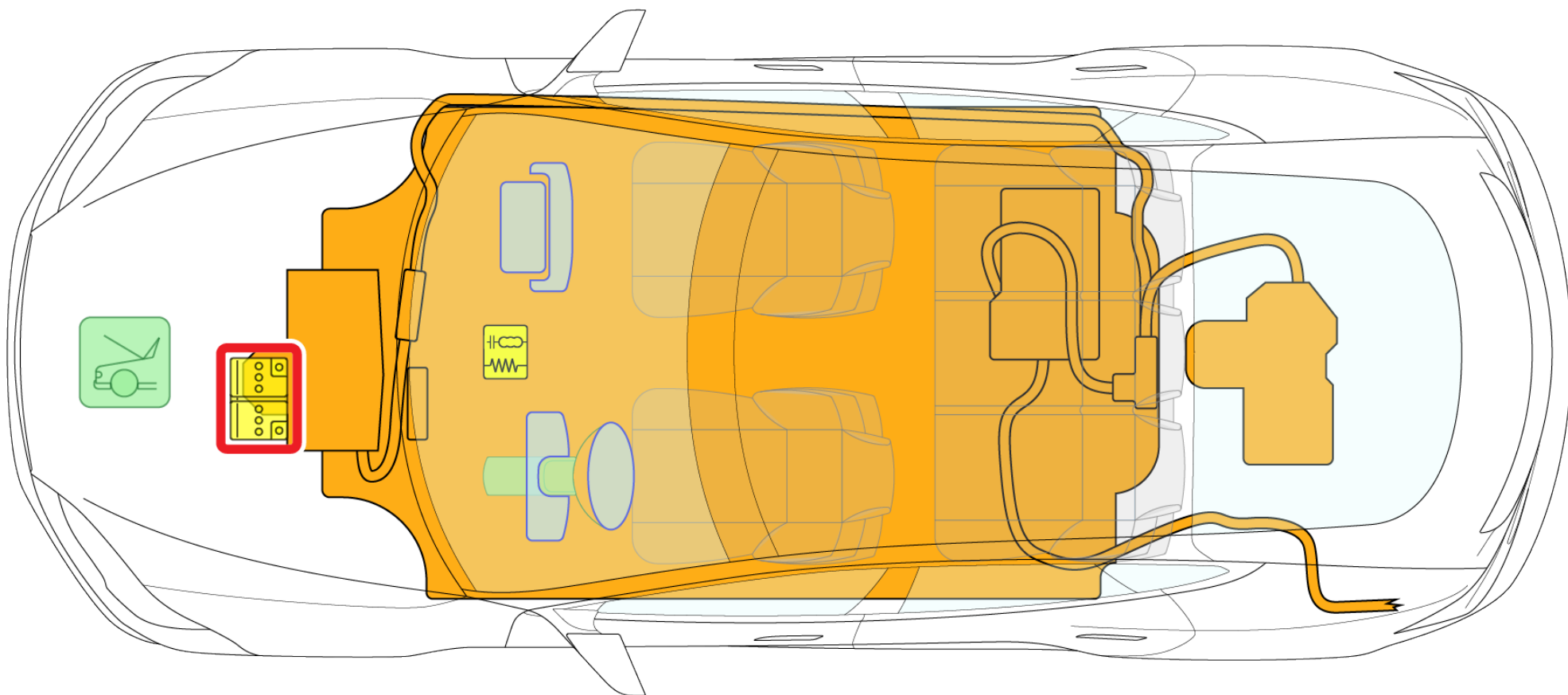
メモ：下図はデュアルモーター車両を表します。フロントドライブユニットなしの車両はこれと似ています。図で示されているモーターが、実際に作業を行っている車両のものと完全に一致しない場合があります。



12V バッテリー

Model S には、高電圧システムに加えて低電圧電気システムがあります。その 12V バッテリーは、SRS、エアバッグ、ウィンドウ、ドアロック、タッチスクリーン、インテリアおよびエクステリアのライト類を動作させます。高電圧システムの DC-DC コンバーターは 12V バッテリーを充電し、12V バッテリーは高電圧接点に電力を供給し、高電圧電流が高電圧バッテリーを通るようにします。赤色ラインで示された 12V バッテリーは、ボンネットとプラスチック アクセスポネルの下に設けられています。

メモ：下図はデュアルモーター車両を表します。フロント ドライブユニットなしの車両はこれと似ています。





車輪 4 本すべてを車輪止めで固定

Model S は静かに動くため、電源が切れていると憶測で作業しないでください。ドライバーはギアをドライブに入れた際に Model S が「クリープ」するかどうか設定することができます。この設定がオフの場合、Model S はギアをドライブやリバースに入れてもアクセルペダルを踏まない限り動きません。ただしこの場合も Model S が動かないと決めつけしないでください。タイヤには必ず車輪止めをしてください。



ギアをパーキングを入れる

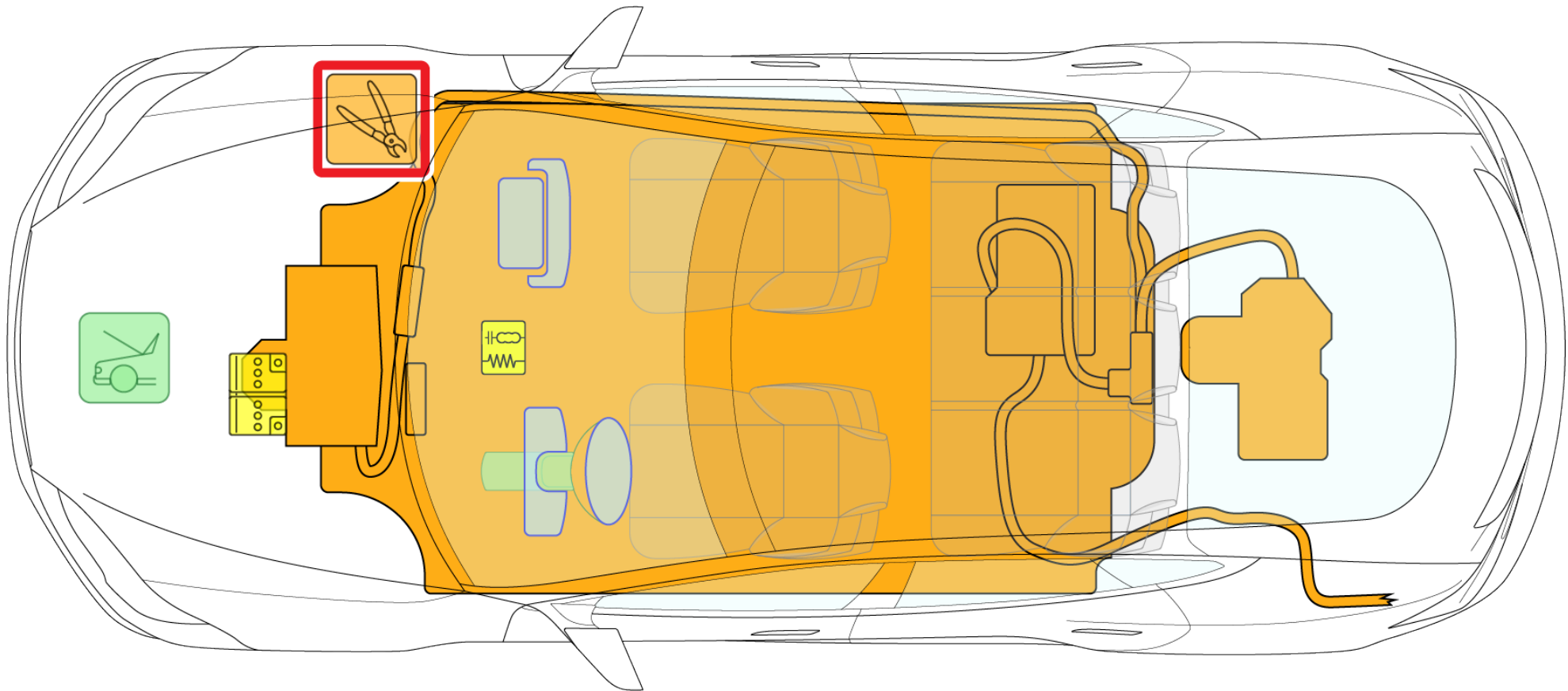
Model S は静かに動くため、電源が切れていると憶測で作業しないでください。ギアがドライブやバックに入っている場合、アクセルペダルをわずかも踏むと Model S は即座に加速します。サイドブレーキを確実にかけるには、ギアセレクターの端にあるボタンを押して、パーキングに切り替えます。Model S がパーキングに入っている時は、パーキングブレーキが自動的に作動し、インストゥルメント クラスターにパーキング (P) と表示されます。



フロントトランクの高電圧遮断ループ

電源遮断ループは、定電圧ハーネスです。この電源遮断ループを切断すると、高電圧バッテリーの外側にある高電圧システムが遮断され、SRS およびエアバッグのコンポーネントが無効化されます。高電圧遮断ループを確認して切断を行うには、[フロントトランクの高圧遮断回路の切断](#) 14 ページの参照してください。

メモ：下図はデュアルモーター車両を表します。フロント ドライブユニットなしの車両はこれと似ています。



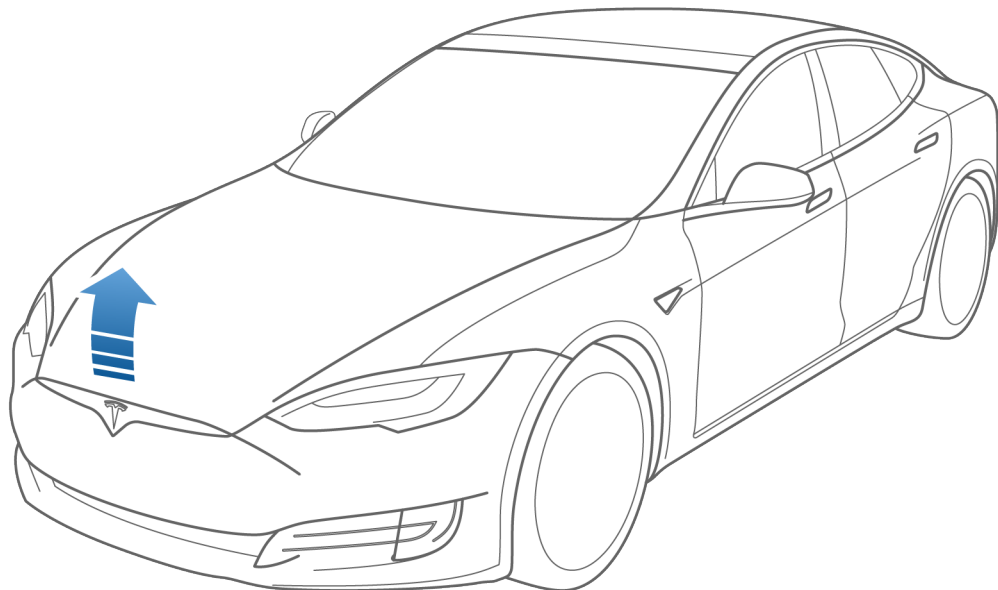
▲ 警告：無効化の手順に関わらず、すべての高電圧コンポーネントが通電状態にあることを常に想定して作業してください。大怪我や死亡事故を防ぐためにも、高電圧コンポーネントの切断や破壊、接触がないようにしてください。



フロントトランクの高圧遮断回路の切断

高電圧遮断ループを切断する際は 2 か所を切断し、切断部分をすべて取り除いてください。これにより、配線が誤って接触することを防ぎます。

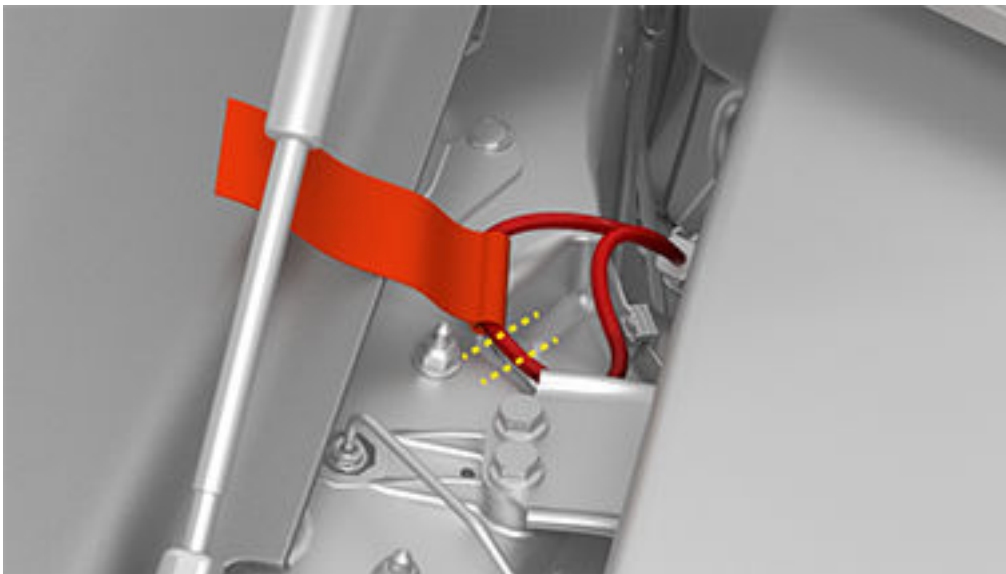
1. フードを開きます。説明に関しては、[ボンネットを開放](#) 27 ページのを参照してください。



2. アクセスパネル(赤色部分)を上方向に引き、パネルを留めているクリップを外してアクセスパネルを取り外します。



3. 高電圧遮断ループを 2 箇所切断します。



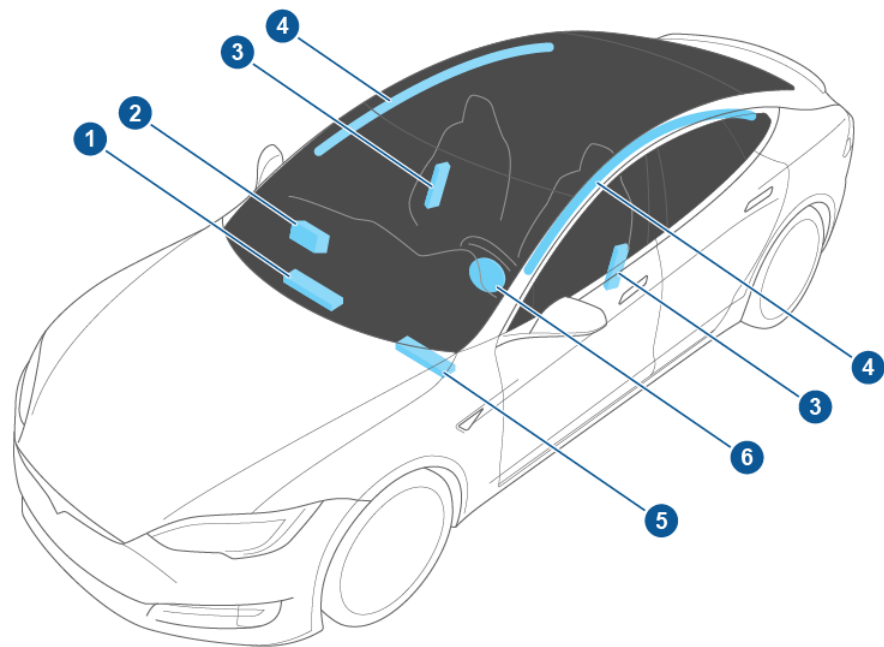


エアバッグ

Model S には 6 個のエアバッグ（北米は 8 個）が搭載されています。エアバッグは下図に示す位置に設置されています。エアバッグについての注意事項は、サンバイザーに表示されています。

注記： Model S は、エアバッグが展開したとき、高電圧バッテリーの外にあるすべてのコンポーネントやケーブルにおいて高電圧が無効となるように設計されています。

メモ：北米の左ハンドル車両を表示。右ハンドル車両では、エアバッグの位置が助手席と運転席とでは反対になります。

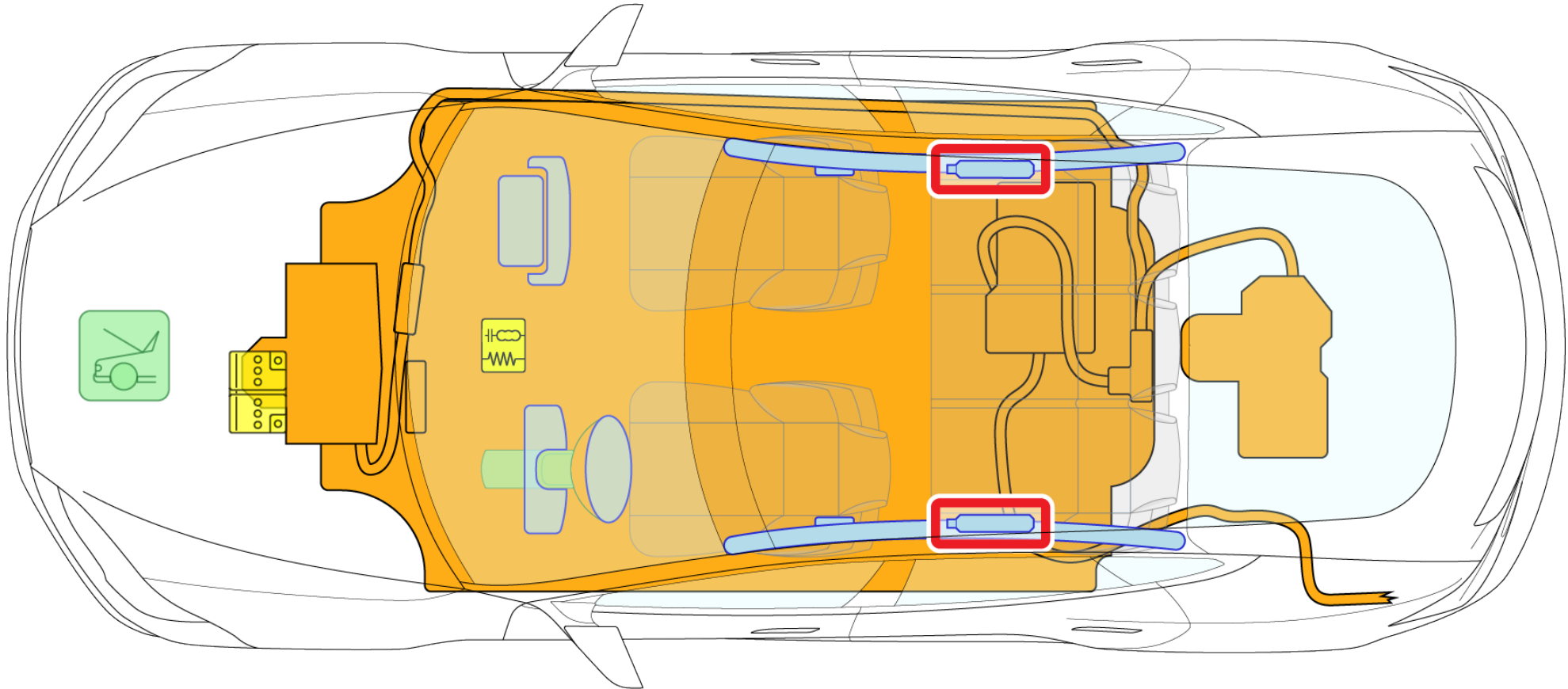


1. 助手席用ニーエアバッグ（北米仕様のみ）
2. 助手席用フロントエアバッグ
3. シート搭載サイドエアバッグ
4. カーテン エアバッグ
5. 運転席用ニーエアバッグ(北米仕様のみ)
6. 運転席用フロント エアバッグ

▲ 警告：SRS 制御装置には、バックアップ電源が搭載されており、放電時間は約 10 秒間です。エアバッグまたはプリテンショナーが展開してから 10 秒間は、SRS 制御装置に触れないでください。

エアバッグ膨張用シリンダー

赤で示してあるエアバッグ膨張用シリンダーは、ルーフ付近から車両後方に向けて配置されています。

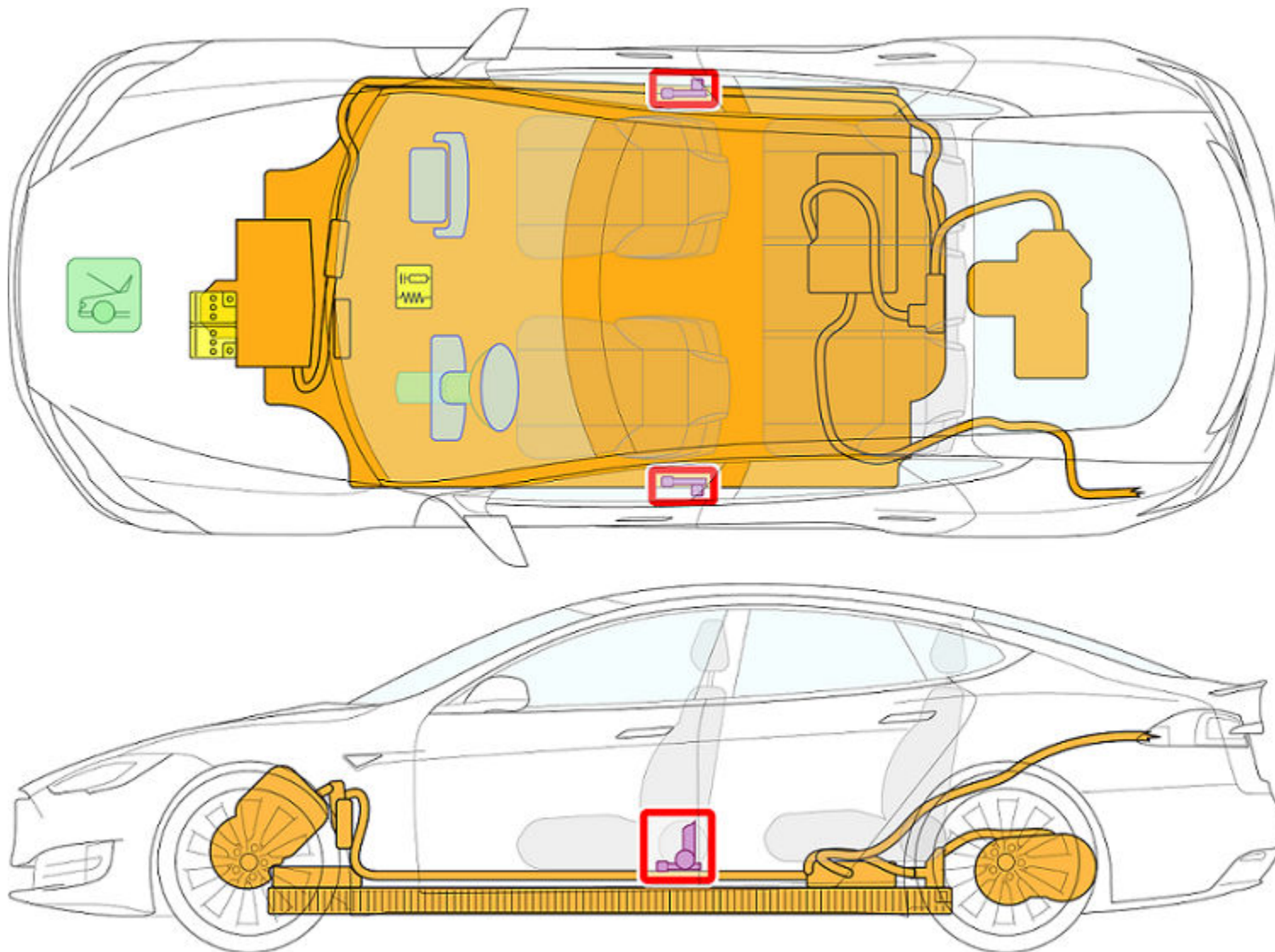


▲ 警告：SRS 制御装置には、バックアップ電源が搭載されており、放電時間は約 10 秒間です。エアバッグまたはプリテンショナーが展開してから 10 秒間は、SRS 制御装置に触れないでください。



シートベルト プリテンショナー

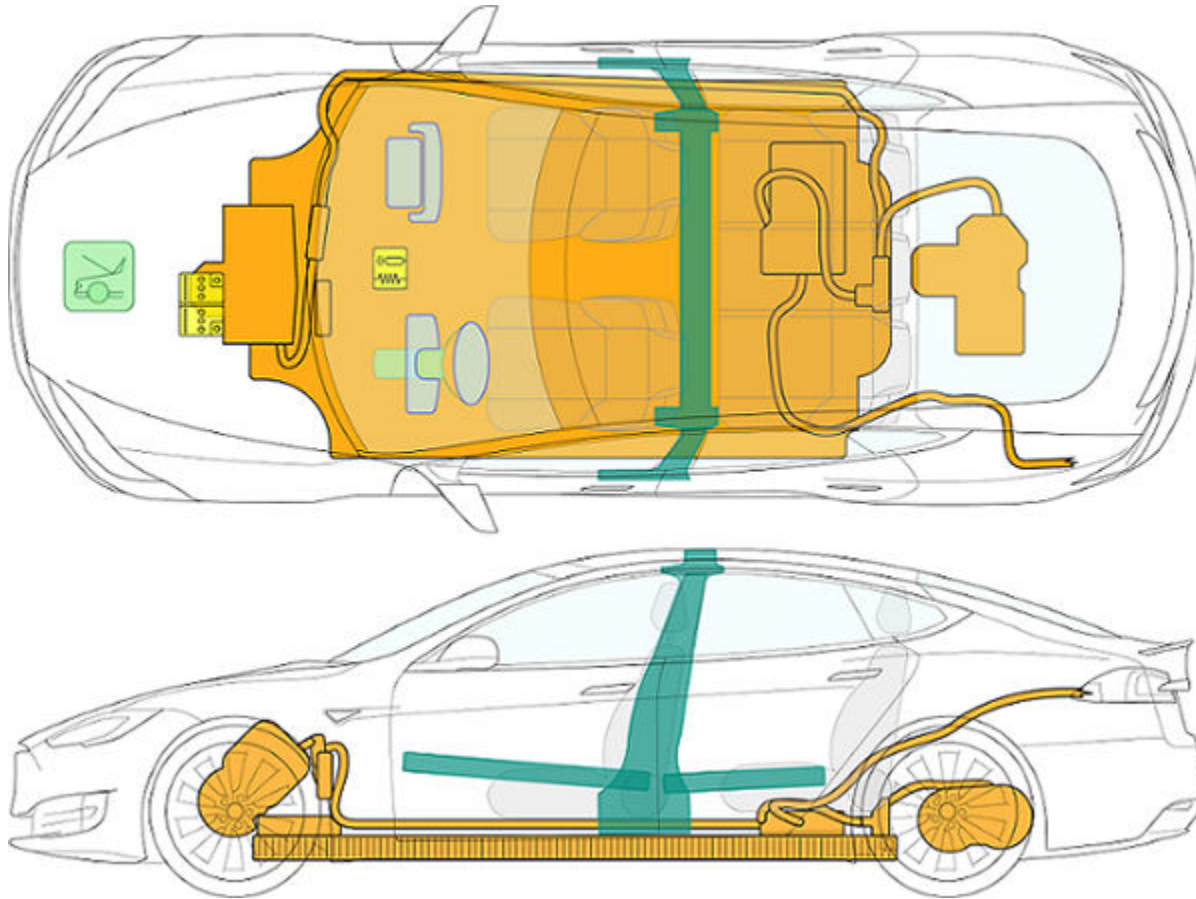
赤で示してあるシートベルト プリテンショナーは B ピラーの底部にあります。



▲ 警告 : SRS 制御装置には、バックアップ電源が搭載されており、放電時間は約 10 秒間です。エアバッグまたはプリテンショナーが展開してから 10 秒間は、SRS 制御装置に触れないでください。

補強材と超高強度鋼

Model S は、衝突時に乗員を保護するために補強されています。使用箇所を切断または破壊するには適切なツールを使用してください。下図では、補強箇所が青緑色で示されています。

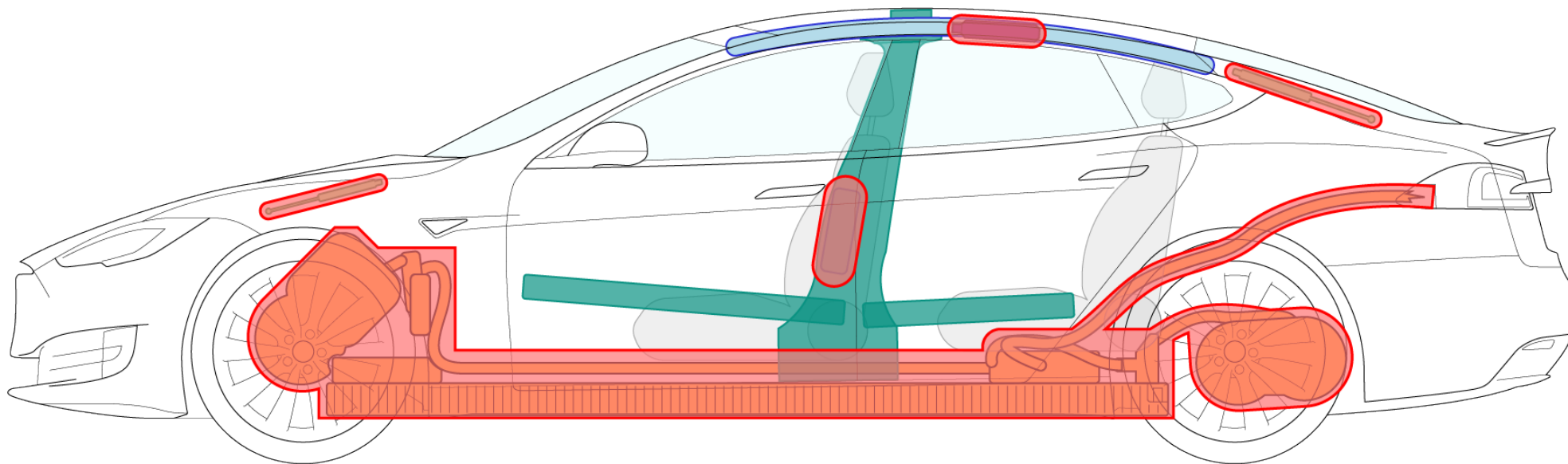


- ▲ **警告：** Model S を切断する場合は、油圧カッターなど適切なツールを使用し、必ず PPE を着用してください。指示に従わないと重大な事故や死亡事故につながる恐れがあります。
- ▲ **警告：** 無効化の手順に関わらず、すべての高電圧コンポーネントが通電状態にあることを常に想定して作業してください。大怪我や死亡事故を防ぐためにも、高電圧コンポーネントの切断や破壊、接触がないようにしてください。

切断禁止ゾーン

Model S には、高電圧、ガストラット、SRS コンポーネント、またはその他の危険性が存在するため「切断禁止エリア」と定義された領域があります。これらのゾーンを絶対に切断したり、破壊したりしないでください。これに従わないと、重大な怪我や死亡事故につながる恐れがあります。「切断禁止ゾーン」はピンクで示されています。

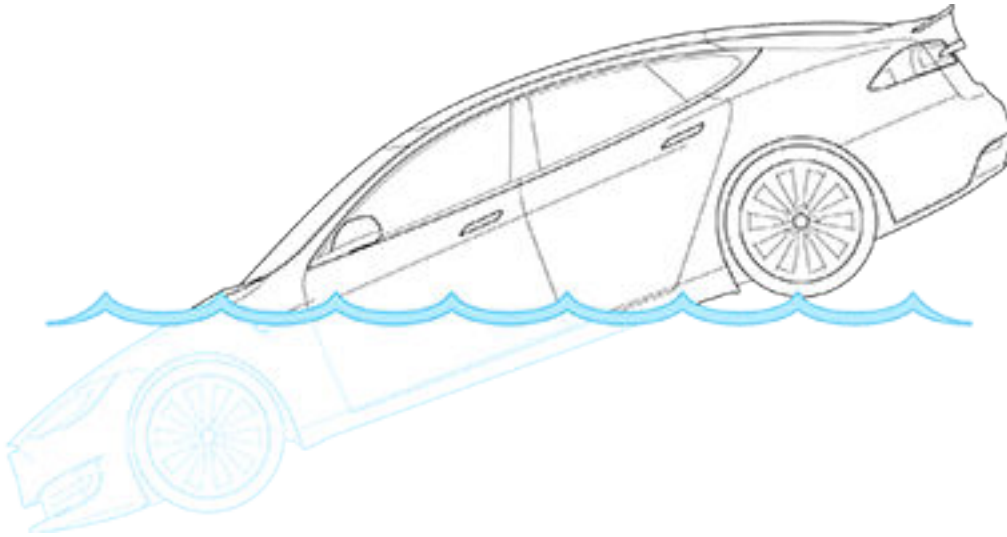
メモ：下図はデュアルモーター車両を表します。フロント ドライブユニットなしの車両はこれと似ています。



- ▲ **警告：** Model S を切断する場合は、油圧カッターなど適切なツールを使用し、必ず PPE を着用してください。指示に従わないと重大な事故や死亡事故につながる恐れがあります。
- ▲ **警告：** 無効化の手順に関わらず、すべての高電圧コンポーネントが通電状態にあることを常に想定して作業してください。大怪我や死亡事故を防ぐためにも、高電圧コンポーネントの切断や破壊、接触がないようにしてください。

全体もしくは一部が水没した車両

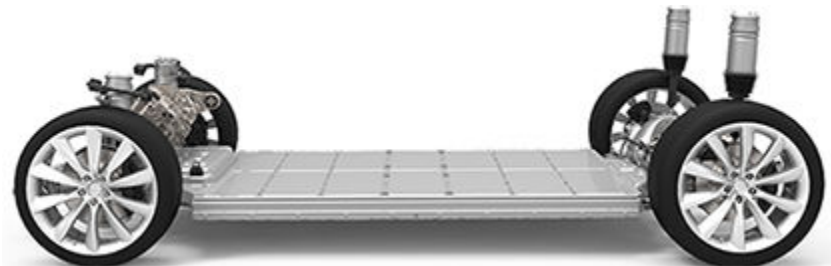
水没した Model S は、水没した通常の車両と同様に取り扱ってください。水没により、Model S の車体の感電リスクが高まることはありません。水没車両を扱う時は適切な PPE を着用してください。車体を水中から引き上げて、通常の高電圧切断作業を実施してください。



▲ 警告：適切な PPE を着用しないで水没した車体を取り扱うと、重傷や死亡につながる恐れがあります。

フロアパンへの荷重

高電圧バッテリーはフロアパンの下に配置されています。決して Model S の内側からフロアパンを押さないでください。フロアパンを押すと、高電圧バッテリーが破損したり、重大な損傷や死亡事故を招く恐れがあります。





消火作業

高電圧バッテリーの消火には水を使用してください。バッテリーが燃えたり、高温にさらされたり、熱やガスを発生している場合は、大量の水でバッテリーを冷却してください。バッテリー火災を完全に消火して冷却するには、約 3,000 ガロン (11,356 リットル) の水が必要なため、確実な給水を確立するか追加の給水を手配してください。消火用水がすぐに入手できない場合は、水が確保されるまで、粉末消火剤、CO₂、泡やその他の消火剤を使用して消火します。

バッテリーに直接水をかけてください。可能な場合には、車両を持ち上げて傾け、バッテリーに直接触れるようにしてください。自然開口（通気口や衝突による開きなど）が既に見られる場合には、バッテリーの内側にのみ水をかけてください。冷却目的のためにバッテリーを開けないでください。

高電圧バッテリーに影響を及ぼさない小さな車両火災を消火する場合は、通常の車両消火手順を採用してください。

分解点検中、絶対に高電圧コンポーネントに接触しないでください。分解点検には必ず絶縁工具を使用してください。

発熱や炎の影響で、エアバッグインフレーター、貯蔵ガス膨張シリンダー、ガストラット、その他のコンポーネントで、予期しない爆発が起こる可能性があります。火災が発生した場合は、高温域に入る前に適切な消火活動を行ってください。

バッテリー火災は完全に消火するまで最大 24 時間を要する場合があります。周辺の可燃物を保護した上で、自然消火を待つことも考慮してください。

すべての火災と煙が沈静化した後、サーマルカメラを使用して高電圧バッテリーの温度を測定し、加熱または冷却の状態を監視することができます。高電圧バッテリーに最低でも 1 時間、火、煙、または加熱がないことを確認するまで、車両を 2 次対応者（法執行機関、車両運搬者など）に引き渡さないでください。バッテリーは、車両を 2 次対応者に引き渡す前に完全に冷却されていなければなりません。2 次対応者にバッテリーが再発火するリスクがあることを必ず伝えてください。

2 次対応車が車両を傾けたり位置を変えたりして車両外に余分な水を排水します。これにより、再度発火する可能性が緩和されます。

再度発火する恐れがあるため、Model S が水没、火災、衝突に巻き込まれ高電圧バッテリーが破損した場合は、必ず 50 フィート (15 メートル) 以内に炎などの危険のない空地に保管してください。

▲ 警告：火災が発生した場合は、車両全体に通電してください。必ず SCBA など完全装備の PPE を着用してください。



高電圧バッテリー - 火災による損傷

バッテリーが燃えたり、高温になると、有害な蒸気が発生します。これらの蒸気は、揮発性有機化合物、水素ガス、二酸化炭素、一酸化炭素、すす、およびニッケル、アルミニウム、リチウム、銅、コバルトおよびフッ化水素の酸化物を含有する粒子を含んでいる可能性があります。救援隊員は、SCBA を含む完全な PPE を必ず着用して自分達を保護し、一般の人が風下で蒸気にさらされないように適切な手段を講じる必要があります。フォグストリームあるいは陽圧換気ファン(PPV)を使って煙や蒸気の向きを変えてください。

高電圧バッテリーは、リチウムイオン電池でできています。これらの電池は乾電池とみなされます。損傷を受けるとごく少量のバッテリー液が漏れる場合があります。リチウムイオンのバッテリー液は無色です。

高電圧バッテリー、充電コントローラー、DC-DC コンバーター、およびドライブユニットは、一般的な自動車用グリコールクーラントを使用した水冷を採用しています。損傷を受けると、この青い液体がバッテリーから漏れる場合があります。

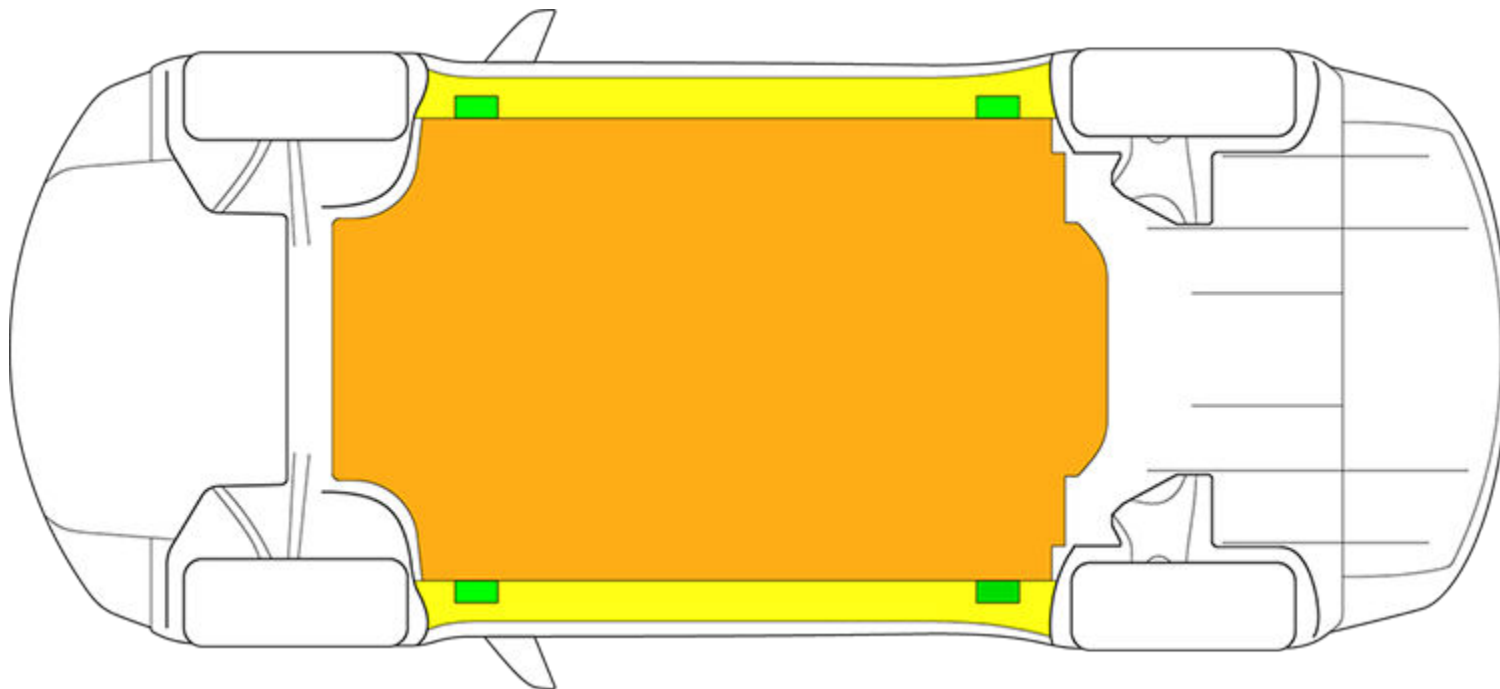
高電圧バッテリーに損傷があると、バッテリーセルの温度が急激に上昇する場合があります。高電圧バッテリーから発煙のある場合には、バッテリーが高温になっていると判断して[消火作業](#) 22 ページのの手順に従って適切な措置を講じてください。

ジャッキアップポイント

高電圧バッテリーはフロアパンの下に装備されています。車台の大部分にはこの高電圧バッテリーが収められています。Model S をジャッキアップしたり固定させるときは、緑色に示されている指定されたジャッキアップポイントのみを使用してください。

⚠ **警告：**ファーストレスポnderが NFPA（全国防火協会）のトレーニングを受け技術者水準の資格を有し、車両のジャッキアップポイントに詳しい場合に限り、車両をジャッキアップを行い調節してください。車両をジャッキアップし調節している間は、高電圧バッテリーや他の高電圧コンポーネントに決して触れないように注意喚起を行ってください。

⚠ **警告：**Mode I S をジャッキアップするために高電圧バッテリー部分を使用しないでください。



適切なジャッキアップポイント



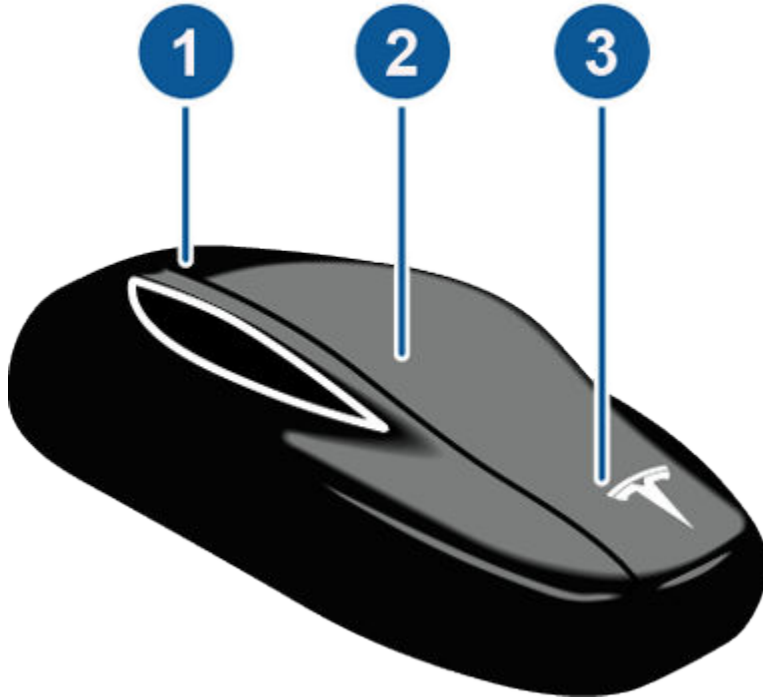
安全な固定ポイントを利用し、側面で Model S を支えます。



高電圧バッテリー

キーを使用

以下に示すようにキーのボタンを使用します。



1. リアトランク。ダブルクリックしてリアトランクを開けます。
2. すべてアンロックします。ダブルクリックしてドアと両方のトランクのロックを解除します。
3. ボンネット / フロントトランク。ダブルクリックしてボンネットを開けフロントトランクにアクセスします。

ドアを開放

Model S には独自のドア ハンドルがあります。通常の状態ではハンドルを押すと、ハンドルがせり出してドアを開けることができます。

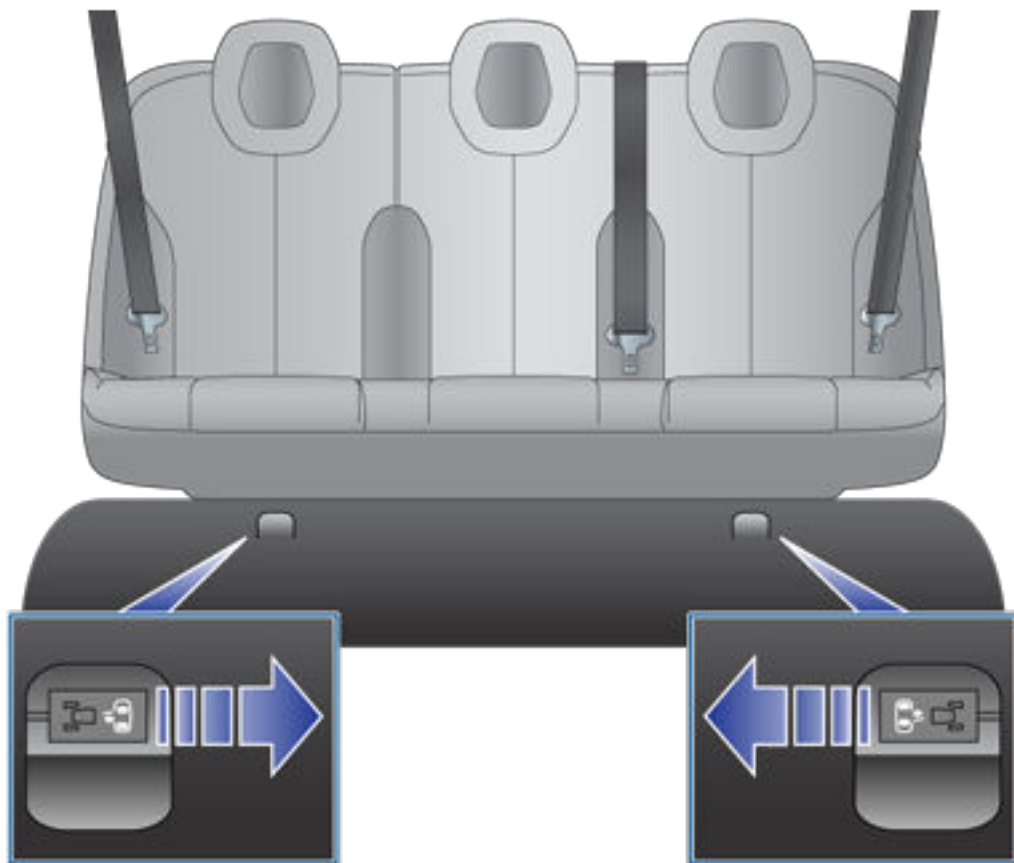
メモ：エアバッグが展開すると、Model S はすべてのドアやトランクのロック解除を行い、すべてのドアハンドルがせり出します。

メモ：ドアハンドルが機能しない場合は、ウインドウの内側に手を入れて車内にあるハンドルを使って手動でドアを開けます。



電源なしでリア ドアを開く

車内からリアドアを開けるには、リアシートの下のカーパーペットの縁を折り返して、メカニカル リリース ケーブルにアクセスします。リリース ケーブルを車両中央に向けて引きます。

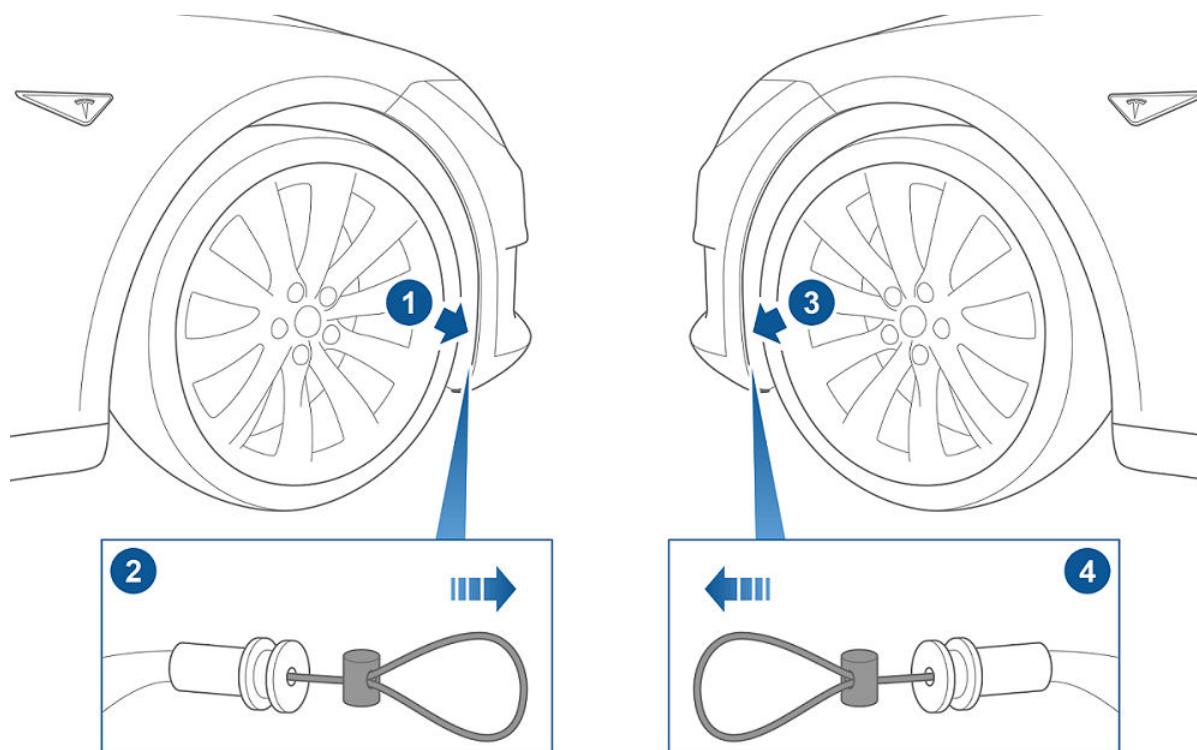


ボンネットを開放

Model S は従来の内燃機関エンジンを搭載していません。したがって、本来エンジンが収容されている箇所は、追加の収納スペースとして使われています。Tesla ではこのエリアを「フロント トランク」または「フランク」と呼んでいます。

ボンネットを開けるには、以下のいずれかの方法で開けることができます。

- タッチスクリーン上で関連した「開く」ボタン（「コントロール」 「クイックコントロール」）をタッチし、フロントトランクを開けます。
- キーのフロントトランク ボタンをダブルクリックしてください。
- フロントホイール アーチライナーにあるリリース ケーブルを引いてください。まず、右側フロントホイールのタイヤハウスにあるカバーを外してストラップを引きプライマリー ラッチを外してください。次に、左側フロントホイールのタイヤハウスのカバーを外しストラップを引きセカンダリーラッチを外してください。

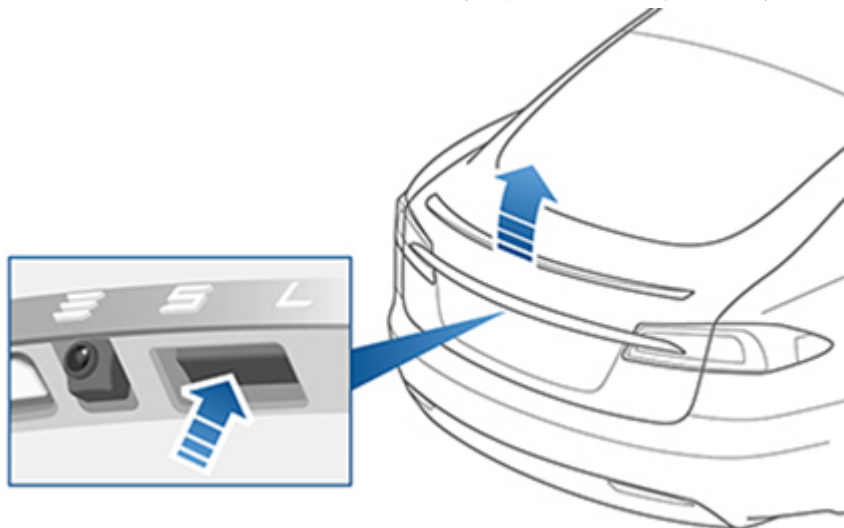




トランクの開け方

トランクに開けるには以下のいずれかの方法を使用してください。

- タッチスクリーン上で関連した「開く」ボタン(「コントロール」>「クイックコントロール」)をタッチし、トランクを開けます。
- キーのトランク ボタンをダブルクリック。
- トランクのエクステリア ハンドル下側にあるスイッチを押します。



車両を押す

- ▲ **警告：**以下の説明は、交通の安全を高めるために Model S をごく短距離移動させるときに使用することを目的としています。Model S の輸送方法については、タッチスクリーン上のオーナーズマニュアルまたはグローブボックス内のロードサイドアシスタンスガイドをご参照ください。お客様の車両の輸送中に発生した損傷は保証対象にはなりません。
- ▲ **警告：**ホイールが地面に接地している場合など、ホイールが回転する状況では、Model S を押さないでください。そういった場合、ジャッキやドリーを用いて 4 個のホイールがすべて地面から浮いている状態にしてください。この方法は時速 35 マイル (55 km) 以下で行い、絶対にタイヤスケートの製造元が指定する制限速度を超えてはいけません。この方法を使用する場合、Tesla では、フロントタイヤを浮かせリヤタイヤにドリーを装着して車両を前向きすることを推奨しています。Tesla で指定していない方法で Model S を運搬すると、車両に重大な損傷を招き、重傷を被ることがあります。

火災や高電圧の危険性が少なく（たとえば、交差点で停車した後に車両が発進しないなど）12V 電源がある場合は、Model S を道路から迅速に押し、路肩に寄せることができます。ドライバーが運転席にいる場合には、Model S のギアをニュートラルに切り替え車両を押します。ドライバーが運転席にいない場合、Model S は（ニュートラルにギアを切り替えた直後でも）ドライバーが車両を離れたことを検知すると、自動的にパーキングに切り替えます。

ドライバーが運転席にいなくても、Model S をニュートラルの状態に保つ（パーキングブレーキを解除し、車両を押せるようにする）には、タッチスクリーンから「輸送モード」を有効にしてください：

1. 必ず Model S をパーキングに入れてください。
2. ブレーキペダルを踏み込んだままタッチスクリーン上で「コントロール」>「サービス」>「牽引」の順にタッチします。
3. 青色に変わるまで輸送モードボタンを押し続けます。Model S は、ブレーキが解除され、押して動かしたり（歩行する速度以下）、ウィンチで引き上げることができます。

メモ：Model S 「輸送モード」を有効にするには、近くにキーがあり 12V の電源を使用できることが検出されなければいけません。

「輸送モード」が有効なときには、Model S のインストゥルメントパネルにこのインジケーターが表示されるのと同時に、Model S のホイールが自由に動く状態であることを知らせるメッセージが表示されます。



「輸送モード」をキャンセルするには、Model S をパーキングに切り替えてください。

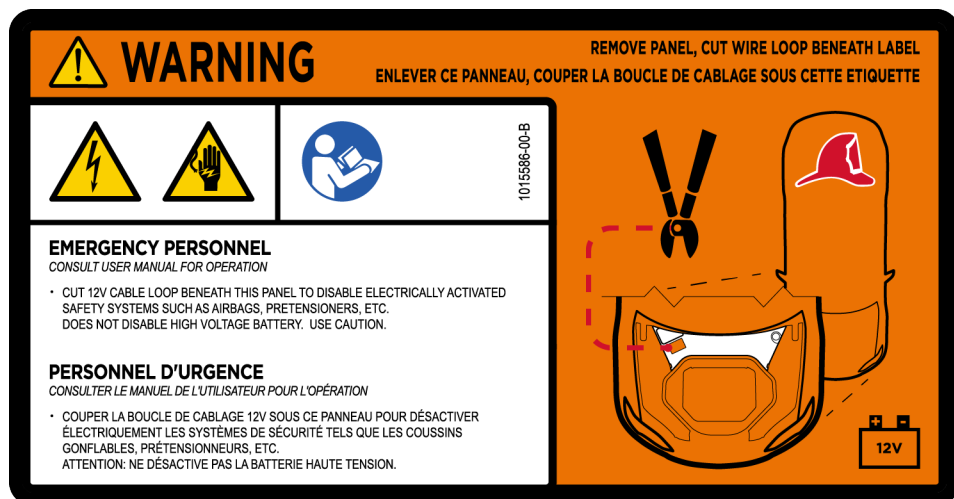
メモ：電気系統が故障している場合、タッチスクリーンを使用して輸送モードを有効にすることができないため、セルフローディング ドリーまたはタイヤスケートを使用します。車両をドリーに積載する前に、必ずドリーの製造元による仕様および推奨積載重量を確認してください。また、12V バッテリーのジャンプスタートをお試しください。実施方法に関する説明については、Tesla ロードサイドアシスタンスまでご連絡ください。

高電圧ラベルの例

以下に示すのは、高電圧コンポーネントに貼られているラベルの例です。お住いの地域や車両製造日により、ラベルが異なったり他言語へ翻訳されていたりする場合があります。

注記：新しい車両には高電圧ラベルが貼られていない場合があります。高電圧コンポーネントを警告するラベルに頼り過ぎず、注意して作業を行ってください。常に、高電圧コンポーネントは通電状態であるという前提で作業を行ってください。

⚠ 警告：高電圧コンポーネントにラベルが付けられていない場合もあります。Model S を切断するときは、必ず適切な個人用保護具（PPE）を着用してください。指示に従わないと重大な事故や死亡事故につながる恐れがあります。





お問い合わせ

第1次および第2次の緊急救援隊員はTesla ロードサイドアシスタンスに連絡を入れる必要があります。連絡先電話番号は、<https://www.tesla.com/roadside-assistance> をご参照ください。

第1次緊急救援隊員およびトレーニング教官の方でご質問がある場合は、firstrespondersafety@tesla.com までご連絡ください。



3500 Deer Creek Road
Palo Alto, CA 94304

© 2019 TESLA MOTORS, INC. All rights reserved.

本ガイドに記載されたすべての情報とModel S[®]のソフトウェアは、テスラモーターズおよびそのライセンス許諾者の著作権や他の知的財産権の対象となります。当ガイドは、テスラモーターズおよびそのライセンス許諾者の書面による事前の許可なくして、いかなる部分も改変、複製、複写することを禁じます。追加情報はご要望に応じて提供いたします。TESLA MOTORS[®], TESLA ROADSTER[®], TESLA[®], , , および MODEL S[®] は、米国において登録商標となっています。TESLA™ は、米国およびその他の国々においてテスラモーターズの商標となっています。本ガイドに含まれるほかのすべての商標はそれぞれの所有者の財産であり、係る商標の本ガイドにおける使用は、これら製品またはサービスを推奨または是認するものではありません。本ガイドおよび車両に示された商標を不正利用することは厳しく禁止されています。